

第2回生駒市総合計画審議会（第二部会）

開催日時 平成29年7月28日（金） 13:30～

開催場所 生駒市役所 403・404会議室

出席者

（委員）久部会長、中谷委員、楠下委員、中山委員

（事務局）坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、
片山政策企画推進係員

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】 （開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

No. 343 地域美化・環境衛生

【中谷委員】 空き地の草刈りとあるが、これには農地も含まれているのか。

【久部会長】 小分野の趣旨からすると農地も含まれる。

【中谷委員】 農地の管理は昔から問題になっているので、対策が必要だと思う。

【事務局】 所有者がいるので、強制は難しいところもある。

【久部会長】 土地を持っているだけで、使うつもりも貸すつもりもない人が問題。指標1で平成27年度に不法投棄の回収件数が急増している原因は、ごみ有料化の影響か。

【事務局】 平成27年4月からごみ有料化したので影響は大きいと思う。パトロールも強化している。処理量でみると平成28年度は、前年比でほぼ半分に減少している。

【楠下委員】 防犯カメラ設置の効果もあると思う。

【久部会長】 この調子で取組んでいただきたい。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 （異議なし）

№. 344 上水道

【楠下委員】 生駒の水はおいしいとPRされており、市民にも定着してきている。実際にミネラルウォーターと飲み比べてみても遜色ないと思う。

【中山委員】 節水の取組が進み、水の使用量が減ると、それに伴い、水道管に塩素が付着し耐用年数が短くなると聞いた。

【事務局】 平均配水量は指標1のとおり、減ってはおらず、今のところそのような問題は上がってきていない。

【久部会長】 公営企業なので、経営的には水を使ってもらった方が良いが、節水にも取組まないといけないところが難しい。取組としては、順調に進められていると思う。評価としては、Aでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 351 自然的資源

【中谷委員】 生駒市では、去年までナラ枯れが問題になっていた。これからは、倒木の危険性が増すので、第三者に被害が及ばないように対応が必要である。

【中山委員】 他のところでは、伐採した木がそのまま放置されているところもある。

【楠下委員】 全国的に豪雨被害が出ているので、そういったケースを想定した対策が必要だと思う。

【中山委員】 竹が道に覆いかぶさっているところもある。

【久部会長】 ナラ枯れ後の倒木対策を含めて、引き続き適正に管理してもらいたい。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

№. 352 公園・緑化

【久部会長】 コミュニティパーク事業が2年に1回の採択というのが少しもったいないように思う。コミュニティづくりのきっかけにもなる。この事業で整備された公園は、その後の地元管理が徹底されている。

【事務局】 今のところ、1年目設計、2年目施行というスケジュールで実施している状況である。

【楠下委員】 花と緑の活動など、市民参加によって推進されている。生駒市の公園は手入れが行き届いており、比較的安心なところが多い。コミュニケーションの場になっている。

【久部会長】 花と緑のまちづくりセンターがあることも大きい。上手く活用してもらいたい。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

No. 511 学研都市

【中谷委員】 奈良先端科学技術大学院大学との関わりが明確でなく、市民に広く知られていない。計画性が見えてこない。

【久部会長】 市民に身近な研究をされているわけではないので、どうしても市民生活と距離ができてしまう。

【楠下委員】 研究自体は難しいだろうが、研究が成功したら世の中がどう変わるかなど、大きな話を市民向けに講演すれば、もっと興味を持ってもらえるのではないか。市民の関心度が低いので、どう上げていくかが課題だと思う。

【久部会長】 地域貢献は大学の評価項目のひとつになっている。市も積極的に取り組むという姿勢で大学側に声をかけてはどうか。

【事務局】 大学には中学校の特別授業を開講していただいております、内容も面白いと生徒から好評と聞いている。

【楠下委員】 市内にせっかく良い大学があるのだから、上手く連携してメリットを活かしてほしい。

【事務局】 平成28年度から、いこまの魅力創造課が大学との連携を担当しており、ソフト面の連携を推進できる体制を整えている。奈良先端科学技術大学院大学には、オープンデータ利活用の推進に向けた取組にも協力していただいた。

【楠下委員】 市のホームページから奈良先端科学技術大学院大学のホームページへ直接リンクできるようにすれば、市民も情報を得やすいと思う。生駒が学術研究都市として、50年後100年後のイメージを持ってまちづくりを進めると素晴らしいと思う。

【久部会長】 ソフト事業も含めて多面的にアプローチして、先端大のブランド力を活

かして、効果が発揮できるよう取組んでもらいたい。評価としては、Cでよろしいか。

【各委員】（異議なし）

No. 521 農業

【中谷委員】 黒大豆を売り出しているが、黒大豆が生駒市の農業にどれくらい貢献しているかが知りたい。今後どのように展開していくのか。

【久部会長】 黒大豆は丹波が本場なので、強力なアピールポイントがないと厳しい。黒大豆の特産品としての可能性を検証して、頑張るなら頑張る、厳しいのであれば方向転換も含めて検討されたい。また、「4年間の主な取組」にもあるが、「食のバリューチェーンの構築」がこの分野の大きな柱だと思う。

【中谷委員】 新規就農者でレストランと契約している農家もある。農業をさらに推進していくためには、何か特産品といえるものを作らないといけないのではないか。

【久部会長】 やる気のある農家の人を後押ししてモデルとして組み立てていくことが必要。農家の人だけで検討するのではなく、外部の方にアイデアを出してもらおうと良いと思う。農業だけで考えるのではなく、農業の周辺から農業について考えたほうが面白い展開が期待できる。そういう意味で食のバリューチェーンの構築は重要。

【楠下委員】 生産者と販売者がうまく連携できると可能性が広がると思う。

【久部会長】 頑張っている農家の人を応援して、まずはモデルを作って、やればできるところを示すと良いと思う。生駒市は農業の条件が良くない分、外部の人からも知恵を出してもらい、成功に結び付けてほしい。指標は概ね達成している。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】（異議なし）

No. 531 企業立地

【中谷委員】 企業立地に対しては、補助金を出しているが、企業の撤退を食い止める施策が用意されていないように思う。立地している企業に対して何を求めているかを聞き取りすると良いのではないか。

【久部会長】 他市では、既存の立地企業に対しても補助金を出している。企業と行政が両輪で進んでいくというスタンスで、立地後もサポートして、今いる企業に満足してもらうことが新たな企業立地にも繋がる。評価はBでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

No. 532 商工業

【中谷委員】 テレワーク&インキュベーションセンターの活用が重要である。

【事務局】 「働き方改革」、「小さな起業」、「女性の再チャレンジ」をキーワードに、様々なセミナーを開催している。また、実際に来られた市民の方々にニーズを聞いて、今後の活用方法を検討していく。

【久部会長】 子育て世代の女性にとって使いづらいという意見も聞いている。何人かでチームになってもらうという方法もある。一人ではできないことがチームだと可能になることもある。

【楠下委員】 在宅で仕事ができる環境が整いつつある。営業職の人は、直接取引先に出向き自宅へ帰る。子育てしながらでも働くことは可能だと思う。

【事務局】 実際に、テレワーク&インキュベーションセンターも営業職の方が利用されるケースがあると聞いている。

【久部会長】 テレワークを実施する企業には、担当課の職員が利用のお願いに出向くのか。

【事務局】 指定管理者が大阪府内の会社を中心にアプローチしている。

【久部会長】 実際に足を使って稼ぐことが大事。頑張っていたきたい。評価はBでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

No. 541 観光・交流

【中谷委員】 観光資源はあまりないので、新たな取組が必要ではないか。

【久部会長】 情報発信するコンテンツ作りは頑張っていると思うが、知っている人は知っていても知らない人は知らない。ぴっくり通りにしても100円商店街など様々な取組をされているが、知らない人からしてみれば旧来型の商

店街というイメージ。取組が知られていないことはもったいないので、PRの仕方が大事だと思う。

【事務局】 観光となると、奈良市と比較すると見劣りしてしまう。生駒市は、住みながら土日にちょっと立ち寄れる観光ができれば良いと思っている。

【久部会長】 普通のまちをその市民が楽しむというアーバンツーリズムという考えがある。特別なものだけが観光ではなく、ストーリー作りを工夫すれば普通のところが観光の対象となる。他市では、自分のまちを自分で紹介する冊子を持ち寄って展示するイベントがある。

【楠下委員】 Eco-net生駒で自転車マップ「くるリンいこま」を発行した。その中にはおすすめポイントとして、環境施設や観光スポットも盛り込んでおり、楽しみながら回れるように工夫している。生駒市に住みながら知らないところも多いと思うので、是非活用していただきたい。

【久部会長】 着々と面白いことが展開されていると思う。さらに発想を広げて、市民がすることを行政が応援するということまでできればベストだと思う。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

【久部会長】 本日本日予定していた審議案件については以上である。全般的に何かご意見等あるか。

【楠下委員】 生駒市は環境モデル都市なので、古いものを大事にしながら、新しいまちを作ってほしい。また、最先端の研究をしている大学もあるので、そのメリットを行かした政策を進めてほしい。

【久部会長】 生駒市は横串を刺す課が多いが、そこに仕事が追いやられてしまわないようにしなければいけない。それぞれをマネジメントする課だということのを市内の共通認識として持って取組んでほしい。

【楠下委員】 総合計画を展開する中で、行政、市民、事業者が一丸となって、しっかりと目標を共有し取組んでほしい。

【久部会長】 ハードとソフトが両輪になって動いて初めてうまくいくということがよくある。空き家対策が典型的だが、空き家を残して何に使うかというアイデアまでないと前に進めない。それぞれが分離して組み立てられがちだが、

しっかりと相乗りして検討を進めてほしい。

【事務局】（庶務連絡、閉会宣告）

—— 了 ——